

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月25日

【評価実施概要】

事業所番号	3270600228		
法人名	株式会社 ドクターリセラ		
事業所名	グループホーム ひのき		
所在地	島根県江津市都野津町2340-5 (電話) 0855-53-4031		
評価機関名	NPOしまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白潟本町43番地		
訪問調査日	平成21年1月22日	評価確定日	平成21年2月25日

【情報提供票より】(平成20年12月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年 2月15日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤5人, 非常勤5人,	常勤換算7.15人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	～1・2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	9,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		1,300 円	

(4) 利用者の概要(12月20日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名	
要介護1	2名	要介護2	1名			
要介護3	5名	要介護4	1名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	84.3歳	最低	73歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	国沢病院 江津済生会病院 菅田歯科医院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

老人会の方が絵手紙更新のため定期的にホームに来たり、祭では神輿が立ち寄る等、市担当者を含めボランティアや地域の方が自由に入出入りしている。管理者の「利用者向き合い心を開いてもらうケア」の考えのもと、職員は毎日の食事やお茶会、嚥下体操等の場面で巧みにリードしながら利用者の笑顔や会話を引き出し、手を出し過ぎないケアに心掛けている。利用者は生き生きと生活し、運営者と管理者の連携も良く、ホーム全体が明るく伸び伸びとした雰囲気である。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 現状に即した介護計画の見直し、重度化や終末期に向けた方針の共有、役割や楽しみごとへの支援、広報の発行等が課題となっていたが、運営者の理解やパートを含む全職員の検討を通じ多くを改善してきた。残された課題も明確になっている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は職員で項目を分担し文章化したものをリーダーがまとめ、管理者が点検した。職員はケアの振り返りや相手に伝わる文章を書くことの大切さ等も学ぶことが出来た。外部評価結果は会議で改善に向け検討しサービス向上に役立っている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 外部評価結果からテーマを決め、委員それぞれの意見や要望、改善事項等を積極的に聞き、それらを職員間で話し合い、サービス向上に活かすよう努力されているが、今年度は今まで2回の開催であり少ない。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 来訪時や家族会、意見箱等で意見の引き出しに心掛けたり、遠慮なく言ってもらえるような雰囲気作りに努めているが、意見や要望はあまり出ない。出された意見等は運営やケアに活かしている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 公民館の行事や地域の祭り、万葉フェスティバル等に参加したり、グループホームのクリスマス会にボランティアが出し物をする等地域との交流に努めている。市担当者は時にホームの行事に参加し利用者と食事をする等、協力的である。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組み を期待し たい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型としてのサービスを念頭に置いた分かりやすい理念が作られている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の申し送りやケアの場面を通じ、理念の共有を図っている。月2回開催する会議の間では理念に沿ったケア提供が出来ているか振り返り、職員同士で意思統一している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	公民館の行事や地域の祭り、盆踊り等に参加したり、グループホームのクリスマス会にボランティアが出し物をする等地域との交流に努めている。管理者は認知症の啓発活動にも参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員で項目を分担し文章化したものをリーダーがまとめ、管理者が点検した。職員はケアの振り返りや相手に伝わる文章を書くことの大切さ等も学ぶことが出来た。外部評価結果をもとにサービス向上に役立てている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価結果からテーマを決め、委員それぞれの意見や要望改善事項等を積極的に聞き、それらを職員間で話し合い、サービス向上に活かすよう努力されているが、開催回数が今年度は二回と少ない。	○	定期的な開催を期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	担当者から情報提供を受ける等良い関係が作られている。担当者は広域で取り組んでいる健康体操やホームで行う行事に参加し利用者とともに食事をする等、関係者との交流に積極的である。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時に必ず声を掛け、利用者の状態を説明している。月一回、生活の様子や健康状態、金銭管理等も報告し、管理者の手書きのコメントも添えている。記録物も要望があれば開示している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時や家族会、意見箱等で意見要望を引き出すよう心掛けたり、遠慮なく言ってもらえるような雰囲気作りに努めているが、意見や要望はあまり出ない。	○	家族会の自主運営や開催曜日、回数等が検討され、介護相談員の導入も予定されている。ホーム運営のためこれらの実現に期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者に担当職員を付ける等馴染みの関係を重視している。離職者が発生した場合にも引継ぎを十分にいき利用者への影響が出ないように配慮している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者の理解もあり職員は研修会や講習会に積極的に参加し、研修内容も職場会議等で報告し全職員で共有している。現任職員に新人職員を任せることを通じ、職員の力量アップを図っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会で馴染みになった同業者とはお互いの施設を見学したり、年一回集まって情報交換をする等交流している。グループホーム部会の設立が話題となっている。	○	ネットワーク作りの牽引者となって頂きたい。また同業者間の交流をはじめ地域のサービス向上に向けての取り組みに期待したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族の協力を得て、面会に来てもらう、電話を掛けてもらう、食事を一緒にする等、利用者がホームに馴染み安心感を持って生活できるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の希望や思いを理解し共感することを重視し、日常生活の中で役割を持ってもらっている。職員は利用者から味付けや料理法をはじめ、1人ひとりに関心を持ち支え寄り添うことの重要さも学んだ。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式により家族に記入してもらい情報収集したり、本人に希望を聞いている。利用者から率直な要望が出る。また利用者の日常の表情や言動からも思いの把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者が利用者や家族、関係者から得た情報をもとにアセスメントし、会議の場で検討しながら介護計画を立てている。利用者の生活歴や趣味等を取り入れた介護計画であり、介護度3から1へ変化した事例もある。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	一ヶ月に一回チャートを使ってモニタリングし、家族や利用者参加の話し合いも実施している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診時の同伴や早期退院に向けての支援を行っている。時には家族と一緒にホームで食事したり法要や墓参り等の外出にも柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医や看護師との連携により、往診や受診、健康管理を受けている。精神科や眼科皮膚科は家族と協議しながら今までのかかりつけ医に受診する等、要望に沿って対応している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの経験があり、家族の満足感や職員の自信にもなった。ハード面の困難さはあるが、家族の意向があれば重度化や終末期に対応する姿勢があり職員間で方針を共有している。医師の協力は得ている。	○	ターミナルマニュアルの作成が予定されている。家族や関係者との協力のもとさらに重度化や終末期ケアの充実に期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	トイレや食事、衣服交換等さりげなく誘導している。利用者との信頼関係をつくることが大切にされ、1人ひとりの個性や能力に対応して支援している。個人情報も配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしくゆったりと生活してもらうことに心掛けている。いつもきれいにしたい人はマニキュアをしたり美容院に毛染めに行ったり、赤やピンク色の服を着用する等、自己決定が尊重されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者と一緒に調理、盛り付け、ランチョンマットの片付け等支援している。管理者や職員は食事が楽しくなるよう、誕生日のメニューを話題にしたり、それとなく食べやすい位置に皿を移動する等細やかに支援していた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週二回の入浴が基本となっているが、利用者の希望があれば昼間だけでなく夜間にも入浴が可能で、その体制も調整している。以前、就寝前に入浴する人がいた。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除や盛り付け、皿洗い、大根やラッキョウ、梅干漬け、干し柿づくり等利用者の力を発揮してもらう場面がある。演歌を歌ってもらったり、お茶の時間に昔話を引き出す等一人ひとりに声掛けをしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くにある公園に車椅子の人も含め散歩に出かけたり、勤務を調整しながら洋服や靴等の買い物や外食、家に行く等要望に応じている。年間計画として全員が外出する機会を作っている。	○	買い物や職員の外出時に同行してもらう等の工夫で、日常的に外出の機会多くなるよう期待したい。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は玄関は開錠され、居室にも鍵はなくいつでも自由に入出りが出来る。開設当初から鍵をかけないケアが徹底している。外出時は利用者が納得するまで同行している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署や住民、交番、地域の消防団の協力で年三回避難・消火・通報訓練をしている。二階に居室があり避難時に不安がある。出火させないことが徹底され備蓄品も確保している。	○	スプリンクラー設置も検討されているので実現して頂きたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の健康状態も把握され、個々にあわせてきざみやミキサー食が提供され摂取量等を記録している。「美味しく食べることが一番」と料理方法も工夫し水分摂取にも配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は家庭的であり、地域の方の絵手紙を掲示している。雛人形や正月飾りで季節を感じてもらったり、食卓や窓際には花や観葉植物を飾っている。二階のホールもソファやテレビ、ポットが置かれゆったりと過ごせる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた筆筒や時計、伴侶の写真、位牌、アルバム等が持ち込まれている。	○	家族の協力で「利用者の一番良かった時代」を思い起こしてもらうための物の持込が考えられているので、是非実現して頂きたい。

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。